

41期(2015年度)

2015年9月～2016年8月

環境活動レポート



発行日 平成29年1月6日

組織の概要

1)事業所名及び代表者氏名

株式会社 協栄産業
 代表取締役社長 寺重 裕弘
 設立 昭和50年9月
 資本金 1200万円
 URL <http://www.kyoto-kyoei.co.jp>
 E-mail kyoei@kyoto-kyoei.co.jp



2)所在地




本社・工場 〒611-0041 京都府宇治市槇島町落合87-4
 機材置場 〒611-0041 京都府宇治市槇島町落合88-5
 TEL 0774-20-3225 FAX 0774-21-3818

3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 嶋崎 恵
 連絡先 TEL:0774-20-3225 FAX:0774-21-3818
 E-mail me-shimazaki@kyoto-kyoei.co.jp

4)事業内容について

1975年創業以来、砂利碎石製造設備の設計施工販売で培ってきた破碎すること、選別すること、搬送することを軸とした技術を生かし、これからの地球環境問題に事業活動を通じて取り組む企業です。

耐磨耗鑄鋼品販売 各種搬送機器伝導機販売	プラント設計・施工 骨材製造プラント、廃棄物処理プラント	アフターサービス
		

5)事業規模

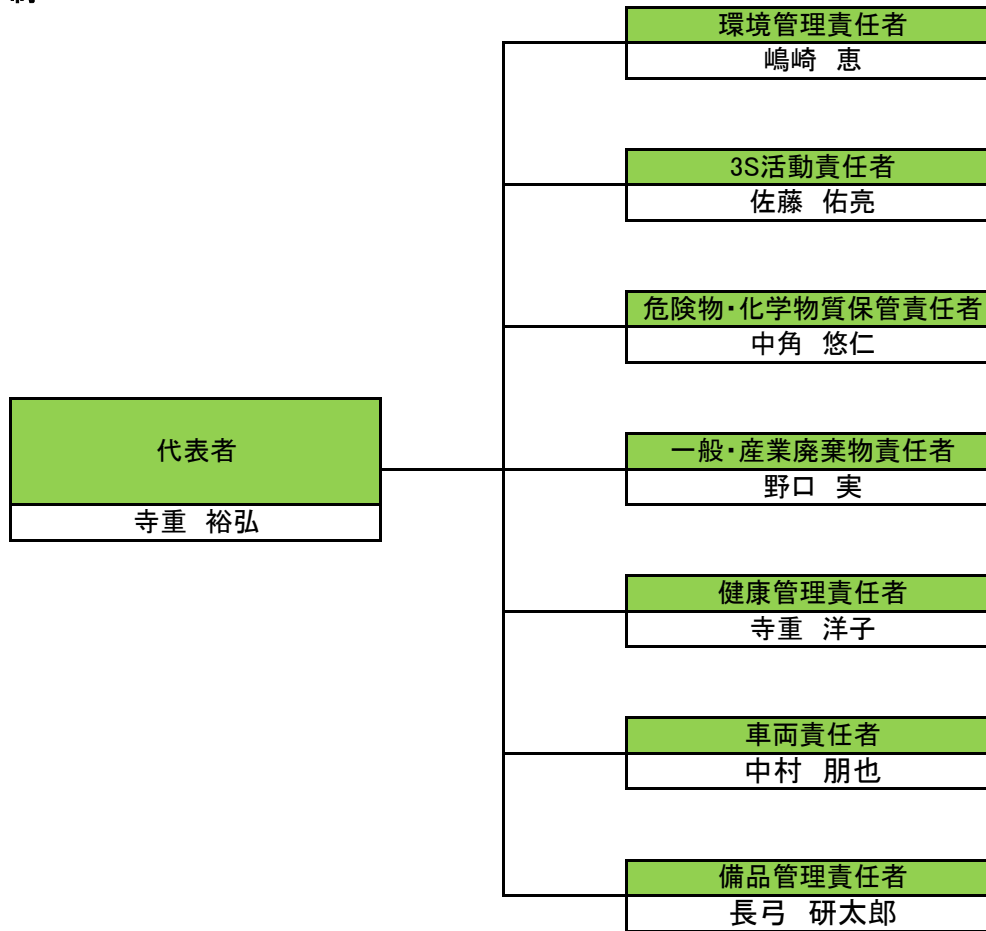
活動規模	単位	39期(2013年)	40期(2014年)	41期(2015年)
売上高	百万円	265	448	446
従業員	人	8	8	8
床面積	m ²	600	600	600

6)事業年度 9月-8月

□認証・登録の対象組織

- 1)登録組織名 宇治市槇島町落合87-4
 3)活動内容 耐磨耗鑄鋼販売、プラント設計施工、アフターサービス

7)実施体制



役割	責任及び権限	担当者
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の設定 ・従業員に対し、指示及び改善箇所の見直し ・環境経営システムの総括責任者 ・改正等の確認及び指示 ・代表者による見直し 	寺重裕弘
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・書類作成及びデータ入力 ・教育、訓練計画及び是正・指示 ・環境管理システムの是正・指示 ・法令改正等のチェック及び見直し 	嶋崎恵
3S活動責任者	工場内の整理整頓 毎朝の10分間清掃	佐藤佑亮
備品・危険物・科学物質保管責任者	アセチレン、酸素、炭素ガスの在庫管理 ペンキ質の備品管理	中角悠仁
産業廃棄物責任者	分別の徹底 保管場所の整理整頓	野口実
車両責任者	定期的な車両チェック確認、提出、改善 エコドライブの呼びかけ、指導	中村朋也
健康管理責任者	職場の衛生管理 健康診断実施責任者及び健康だより回覧	寺重洋子
備品管理責任者	消火器の期限確認 看板設置、チェック確認	長弓研太郎

環境基本方針

環境理念

環境に配慮した事業活動を推進することにより、地球環境の保全に貢献し、社会から信頼される企業を目指します。

環境方針

当社は、環境理念を具体的に実現するために、環境マネジメントシステム(EA21)を構築・運用し、全社員参加のもと次のことを実施します。

1.環境負荷低減の推進

- 省エネルギー化の推進(二酸化炭素の排出量削減)
- 廃棄物の削減・リサイクル化の推進
- 環境に配慮したサービスを推進
- 水資源の削減を推進
- 化学物質の削減を推進
- グリーン購入の推進

2.目的・目標の設定、見直しおよび継続的改善

- エコアクション21に基づき、定期的な見直しを図り、継続的改善を社員全員が協力して取り組む

3.法規制の遵守

- 環境関連の法規制および協定等を遵守する

4.全社員への周知

- 当社環境方針を社員全員に対し掲示する
- 定期的な社員教育の実施

5.社外への公表

- 環境活動レポートを作成し、社外にも公表する

改正 2010.01.12

改正 2011.03.11

代表取締役 寺重 裕弘

環境目標

主な負荷の実績と環境目標

社員全員が意識を持ち、数値を把握しながら、取り組んでいきます。

基準値を39期(2013年)として、40期(2014年)0.5% 41期(2015年) 1.0% 42期(2016年)1.5%削減を目指す

購入電力の二酸化炭素排出量換算値:0.378kg-CO₂/kWh

インプット項目	単位	項目	39期	40期	41期	41期	42期	43期	44期
			2013年	2014年	2015年	2015年	2016年	2017年	2018年
			基準	0.5%削減	1.0%削減	実績	1.5%削減	2.0%削減	2.5%削減
購入電力投入量	kWh	目標	11,991	11,931	11,871	8,702	11,811	11,751	11,691
灯油投入量	L	目標	382	380	378	90	376	374	372
ガソリン投入量	L	目標	4,061	4,041	4,020	4,077	4,000	3,980	3,959
軽油投入量	L	目標	6,974	6,939	6,904	9,150	6,869	6,835	6,800
低圧電力投入量	kWh	目標	1572	1,564	1,556	2,407	1,548	1,541	1,533
化学物質投入量(塗料)	Kg	目標	313	311	310	348	308	307	305
化学物質投入量(シナー)	L	目標	156	155	154	272	154	153	152
水資源投入量	m ³	目標	181	180	179	214	178	177	176
総エネルギー投入量	MJ	目標	557,277	554,491	551,704	603,099	548,918	546,131	543,345
グリーン商品	品目	目標	13	15	16	16	17	18	19

アウトプット項目	単位	項目	39期	40期	41期	41期	42期	43期	44期
			2013年	2014年	2015年	2015年	2016年	2017年	2018年
			基準	0.5%削減	1.0%削減	実績	1.5%削減	2.0%削減	2.5%削減
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	目標	38,574	38,381	38,188	38,706	37,995	37,803	37,610
総排水量	m ³	目標	181	180	179	214	178	177	176
一般廃棄物排出量	t	目標	0.449	0.4468	0.44451	0.251	0.4423	0.4400	0.4378
産業廃棄物排出量	t	目標	0.02	0.0199	0.0198	0.015	0.0197	0.0196	0.0195
製品への環境配慮	品目	目標	7	8	9	11	10	11	12

環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取 組	2015年 度 達成状	次年度	評価 (結果と次年度の取組内容)
電力による二酸化炭素排出量の削減			
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	◎	継続	不要時の消灯などは定着しているが、 コミュニケーション不足や生産効率優先作業が 出来ていないように思える。 今後も引き続き生産効率の向上化を目指し、 取り組んでいきたい
・生産工程の待機時間短縮	○	強化	
・昼休みの消灯	◎	継続	
・不要照明の消灯	◎	継続	
・OA機器の省エネモード設定	◎	継続	
・生産設備のムダ防止	○	強化	
・白熱灯をLED電球に交換	◎	継続	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
・アイドリングストップ	○	強化	日常の点検を見直し、現場への不要なものは 降ろすなど燃費向上に取り組んでいきたい
・急加速の抑制	△	強化	
・冷房の控えめ使用	△	強化	
・買換え時は燃費マークを優先する	◎	継続	
産業廃棄物の削減			
・分別保管場所設置	◎	継続	保管場所の定位置化に伴い、分別の徹底が 出来た。今後、リサイクル率を上げていくように 取り組んでいきたい
・無駄のない材料手配	◎	継続	
一般廃棄物の削減			
・分別ボックスの設置	◎	継続	保管場所の定位置化に伴い、分別の徹底が 出来た。今後、リサイクル率を上げていくように 取り組んでいきたい
・裏紙使用	◎	継続	
・古紙のリサイクル化	◎	継続	
節水			
・雨水の利用	◎	継続	現場作業に伴い洗濯回数の増加など、 使用率の高い洗濯の削減が出来なかった
・手洗い水量の適正化	○	継続	
・清掃時の節水	○	継続	
グリーン購入			
・事務用品はグリーンマークを選ぶ	◎	継続	文具以外のものも環境に配慮した製品を 検討していき
・環境に配慮した製品を選ぶ	◎	継続	
製品への環境配慮			
・梱包の簡素化	◎	継続	今後もリサイクルできる商品の提案を 進めていきたい
・部品交換時のリサイクル化	◎	継続	
・環境配慮設計(プラント、機械設備)	◎	継続	
社会貢献			
・地域との交流を深める	◎	強化	地域として大変な清掃場所を率先して やっていきたい

環境への取組状況

環境保全の取組チェック結果

環境保全の取組チェックリスト

おおむね実施(3) 一部実施(2) 未実施(1) と評価点数とする

項目	2014年	2015年	満点	割合100%
インプット、アウトプットに関する項目				
節水、水の効率利用	3	3	3	
省エネに取り組んでいるか	3	3	3	
ペーパーレス化に取り組んでいるか	3	3	3	
両面印刷、両面コピーを徹底しているか	3	3	3	
空調の適温化を徹底しているか	3	3	3	
化学物質、危険物保管を徹底しているか	2	3	3	
アイドリングストップ等運転方法を配慮しているか	3	2	3	
使い捨ての製品の使用や購入を抑制しているか	3	3	3	
ごみの分別をしているか	3	3	3	
	26	26	27	96%
環境関連法規制等の遵守状況に関する項目				
法規制を整理しているか	3	3	3	
自社に対応する法規制の一覧表を作成しているか	3	3	3	
定期的なチェック体制があるか	3	3	3	
	9	9	9	100%
環境コミュニケーションに関する項目				
外部等意見や苦情、問い合わせなどの対応をしているか	3	3	3	
緊急連絡方法を定めているか	3	3	3	
	6	6	6	100%
環境方針に関する項目				
環境に対する方針が策定されているか	3	3	3	
方針を掲示しているか	3	3	3	
	6	36	6	100%
環境活動に関する項目				
目標数値を把握し、環境を目標を設定しているか	3	3	3	
緊急時等マニュアルや訓練を行っているか	3	3	3	
3S活動を推進しているか	3	3	3	
全社員教育を行っているか	3	3	3	
環境管理体制に基づき作業が進んでいるか	3	3	3	
	15	15	15	100%
グリーン購入に関する項目				
清掃時における洗剤は、化学物質の含有量が低い物を選んでいるか	3	3	3	
トイレトペーパーについて、シングル巻き芯なしを購入しているか	3	3	3	
使い捨ての製品の使用や購入を抑制しているか	3	3	3	
コピー用紙等事務用品を再生材料の製品で購入しているか	3	3	3	
	12	12	12	100%

★★地域貢献★★



草刈機を購入し、会社裏の道を清掃しました。
地域の方々から喜んで頂きました。



★★3S活動★★



弊社の持ち物とわかるように、工具ひとつひとつに
色塗り！！ 今後も継続し続けていきます。



雨水タンクを設置
掃除や溶接冷却などに使用

★★ガソリン・軽油の燃費の統計★★

km/L

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	平均
1台目(ガソリン車)	17.8	16.9	16.8	14.7	14.5	12.4	13	-	15.1
2台目(ガソリン車)	14.3	7.7	12.9	15.2	-	-	-	-	12.5
1台目(軽油2t車)	6.9	7.2	8.5	14	8.2	8.2	7.7	8.2	8.6
2台目(軽油4t車)	6.5	4.9	4.6	5.6	5.2	5.2	4.5	-	5.2

	前年度	今年度
1台目(ガソリン車)	16.5	15.1
2台目(ガソリン車)	15	12.5
1台目(軽油2t車)	9.5	8.06
2台目(軽油4t車)	5	5.2

今年度も、燃費が悪くなってる^^;

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規等	遵守状況	遵守報告
資源有効利用促進法	遵守	廃棄時、パソコンのメーカー回収に協力している
消防法	遵守	該当する物質は、密閉容器に保管している。
高圧ガス保安法	遵守	該当するガスは、高圧容器に保管している。
家電リサイクル法	遵守	対象家電(TV,エアコン、冷蔵庫、洗濯機)の適正処理を委託し、費用の負担を行っている
自動車リサイクル法	遵守	廃車時、適正に処理を委託している
廃棄物処理法	遵守	一般廃棄物は、自治体に従い処理をしている
		産業廃棄物は、法律の従い処理をしている
浄化槽法	遵守	専門業者に委託し、定期点検を実施している
フロン排出抑制法	遵守	年4回の定期検査を行っている

※2017年1月に環境法規最新情報の確認を行った。

※当社の業務範囲で該当する環境関係法規は、上記法規の規定内容を遵守している。

※なお、関係当局により違反等の指摘は過去三年間ありません。

代表者の見直し報告・結果

今年度は、大きな工事に伴い工場での製作作業や、現場への移動など未達成項目を削減するどころか今年も削減には至らなかった。

今後は、定期的な車両管理他未達成項目の削減に努めていきたい。

3S活動では、床のペンキ塗り替えや外壁など会社の修繕も進めていきたい。